

対象校No. 367  
注4

学校コード F112310102468  
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の設置  
注1

**認可**

注2  
麗澤大学 工学部 工学科

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人廣池学園  
令和6年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局(課)名	学長室
職名・氏名	カカリチヨウイカサトミ 係長・藍川仁美
電話番号 (夜間)	04-7173-3650 (内線: 3650)
e-mail	gakuchositu@ad.reitaku-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## 工学部

<工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	36

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人廣池学園

## (2) 大学名

麗澤大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒277-8686

千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒロイケ モトタカ) 廣池 幹堂 (平成元年2月)		
学長	(トクナガ スミノリ) 徳永 澄憲 (平成31年4月)		
学部長	(シバサキ リョウスケ) 柴崎 亮介 (令和6年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)  
令和6年度に報告する内容 → (6)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 工学科 学士(工学)	工学関係	4 年	100 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	400 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	100人 100 ( - ) [ - ]	-人		1.52倍	倍	
志願者数	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	2032 ( - ) [ - ]	-				
受験者数	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	1990 ( - ) [ - ]	-				
合格者数	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	1425 ( - ) [ - ]	-				
B 入学者数	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	152 ( - ) [ - ]	-				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.52	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-							152		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
2年次			-	-	-	-							
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
3年次					-	-	-	-					
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )	
4年次							-	-	-	-			
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	
計	-	-	-	-							152		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	152 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{152} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。







科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・ 教育上の効果を向上させるため、「基礎数学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「統計学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「道徳科学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「道徳科学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「SDGsと道徳」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「English for Communication I」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「English for Communication II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「English for Communication A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「English for Communication B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「スポーツ実習SA」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「龍澤スタディーズ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「簿記入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育上の効果を向上させるため、「自主企画ゼミナールA」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・ 全学的にリベラルアーツの学びを強化するため、「メンタルヘルスリテラシーA」を新規科目として追加。
- ・ 全学的にリベラルアーツの学びを強化するため、「メンタルヘルスリテラシーB」を新規科目として追加。
- ・ 全学的にリベラルアーツの学びを強化するため、「グローバル化と日本」を新規科目として追加。
- ・ 全学的にリベラルアーツの学びを強化するため、「国際情勢論」を新規科目として追加。
- ・ 全学的にリベラルアーツの学びを強化するため、「総合安全保障特論(入門講義)」を新規科目として追加。
- ・ 全学的にリベラルアーツの学びを強化するため、「総合安全保障特論(特別講義)」を新規科目として追加。
- ・ 全学的にリベラルアーツの学びを強化するため、「日本の危機と安全保障・軍事・情報」を新規科目として追加。
- ・ 全学的にリベラルアーツの学びを強化するため、「演劇で学ぶ英語 A」を新規科目として追加。
- ・ 全学的にリベラルアーツの学びを強化するため、「演劇で学ぶ英語 B」を新規科目として追加。

- (注)
- ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年度の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つ

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	125 科目	4 科目	157 科目	28 科目 [ ]	134 科目 [ 9 ]	4 科目 [ ]	166 科目 [ 9 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{157} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	麗澤中学校と共用 (収容定員：450人) (面積基準：5,700㎡) 麗澤高等学校と共用 (収容定員：720人) (面積基準：8,400㎡)		
	校舎敷地	71,603.23㎡	0㎡	10,617.65㎡	82,220.88㎡			
	運動場用地	7,423.00㎡	21,589.22㎡	19,094.00㎡	48,106.22㎡			
	小 計	79,026.23㎡	21,589.22㎡	29,711.65㎡	130,327.10㎡			
	そ の 他	36,522.00㎡	0㎡	43,349.35㎡	79,871.35㎡			
	合 計	115,548.23㎡	21,589.22㎡	73,061.00㎡	210,198.45㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	麗澤高等学校と共用 麗澤高等学校共用部増加(6)			
	41,312.35㎡ <del>42,225.87㎡</del> (42,225.87㎡)	2,796.46㎡ <del>1,882.94㎡</del> (1,882.94㎡)	12,534.50㎡ (12,534.50㎡)	56,643.31㎡ (56,643.31㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	麗澤高等学校共用部増加(6)		
	94室 <del>92室</del>	21室 <del>20室</del>	3室	8 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	工学部 工学科		16 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数  【図書、学術雑誌、視聴覚資料】2024年3月末時点での数値と見込み数の変動(6)  【機械・器具】除却による減少と2023年度取得による増加(6)
	工学部	607,700 [236,300] <del>454,000 [156,800]</del> (598,716 [235,656]) <del>(452,821 [156,719])</del>	3,700 [1,650] <del>3,792 [1,655]</del> (3,795 [1,672]) <del>(3,782 [1,665])</del>	5,640 [5,547] <del>5,810 [5,717]</del> (5,610 [5,517])	11,795 <del>11,784</del> (11,750) <del>(11,709)</del>	1,021 <del>596</del> (1,012) <del>(596)</del>	0	
	計	607,700 [236,300] <del>454,000 [156,800]</del> (598,716 [235,656]) <del>(452,821 [156,719])</del>	3,700 [1,650] <del>3,792 [1,655]</del> (3,795 [1,672]) <del>(3,782 [1,665])</del>	5,640 [5,547] <del>5,810 [5,717]</del> (5,610 [5,517])	11,795 <del>11,784</del> (11,750) <del>(11,709)</del>	1,021 <del>596</del> (1,012) <del>(596)</del>	0	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	6,228.15㎡	263席	652,500冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	5,142.40㎡	テニスコート 2面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	16,823千円	0千円	0千円
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	725,367千円	0千円	0千円
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,650千円	1,390千円	1,390千円	1,390千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、寄付金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	麗澤大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
外国語学部						1.03	1.00							
外国語学科	4	190	-	850	学士(文学)	1.03	1.00	-	平成20	千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号	令和6年度から入学定員変更(220→190)			
経済学部						1.08	1.05							
経済学科	4	110	-	440	学士(経済学)	1.08	1.05	-	平成20	同上				
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成20	同上	令和6年度より学生募集停止			
国際学部						0.85	-							
国際学科	4	80	-	320	学士(国際コミュニケーション)	0.95	-	-	令和2	同上				
グローバルビジネス学科	4	80	-	320	学士(グローバルビジネス)	0.75	-	-	令和2	同上				
経営学部						1.21	-							
経営学科	4	140	-	140	学士(経営学)	1.21	-	-	令和6	同上				
工学部						1.52	-							
工学科	4	100	-	100	学士(工学)	1.52	-	-	令和6	同上				
大学全体	4	700	-	2170	-	1.02	1.00	-	昭和34	同上				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
  - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
  - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<工学部 工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柴崎 亮介 (66) <令和6年4月> 工学博士
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB デザイン思考A デザイン思考B 未来工学特論A 未来工学特論B
専	教授	大岡 昌博 (66) <令和6年4月> 工学博士
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 線形代数基礎 線形代数応用 物理基礎 メカトロニクス基礎Ⅰ メカトロニクス基礎Ⅱ ロボット製作実習 センシング工学 アクチュエータ工学 ヒューマンインターフェース 信号処理
専	教授	大澤 義明 (65) <令和6年4月> 学術博士
		デザイン思考入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 麗澤流エンジニアB 工学的思考法 社会システムのデザインと技術 問題解決型プロジェクト研究 微分積分基礎

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柴崎 亮介 (66) <令和6年4月> 工学博士
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB デザイン思考A デザイン思考B 未来工学特論A 未来工学特論B
専	教授	大岡 昌博 (66) <令和6年4月> 工学博士
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 線形代数基礎 線形代数応用 物理基礎 メカトロニクス基礎Ⅰ メカトロニクス基礎Ⅱ ロボット製作実習 センシング工学 アクチュエータ工学 ヒューマンインターフェース 信号処理
専	教授	大澤 義明 (65) <令和6年4月> 学術博士
		デザイン思考入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 麗澤流エンジニアB 工学的思考法 社会システムのデザインと技術 問題解決型プロジェクト研究 微分積分基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河野 洋 (52) <令和6年4月> Ph. D. (Urban Planning) (米国)
		GIS Data Visualization 統計学基礎 プログラミング基礎 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 麗澤流エンジニアA グローバルエンジニア 統計学 UX/UIデザイン
専	教授	清田 陽司 (48) <令和6年4月> 博士(情報学)
		人工知能入門 AIビジネス入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB 基礎数学 微分積分基礎 線形代数基礎 幾何 微分積分応用 線形代数応用 計算機科学の基礎 ソフトウェア工学基礎
専	教授	小塩 篤史 (43) <令和6年4月> 修士(国際協力)
		イノベーション論 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB 未来工学特論B 麗澤流エンジニアA シミュレーションとシステムデザイン AIビジネス システムエンジニア特論A システムエンジニア特論B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河野 洋 (52) <令和6年4月> Ph. D. (Urban Planning) (米国)
		GIS Data Visualization 統計学基礎 プログラミング基礎 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 麗澤流エンジニアA グローバルエンジニア 統計学 UX/UIデザイン
専	教授	清田 陽司 (48) <令和6年4月> 博士(情報学)
		人工知能入門 AIビジネス入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB 基礎数学 微分積分基礎 線形代数基礎 幾何 微分積分応用 線形代数応用 計算機科学の基礎 ソフトウェア工学基礎
専	教授	小塩 篤史 (43) <令和6年4月> 修士(国際協力)
		イノベーション論 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB 未来工学特論B 麗澤流エンジニアA シミュレーションとシステムデザイン AIビジネス システムエンジニア特論A システムエンジニア特論B



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 高宏 (53) <令和6年4月> 博士(工学)
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 力学 ロボティクス基礎 機械工学基礎Ⅱ ロボット製作実習 社会ロボティクスⅠ ロボット制御 社会ロボティクスⅡ ロボティクス特論A
専	教授	宗 健 (59) <令和6年4月> 博士(社会工学)
		データ分析入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B プロジェクトマネジメント 問題解決型プロジェクト研究 社会人になるための人間関係理論 システム開発の基礎 ソフトウェアマネジメント
専	教授	津村 幸治 (59) <令和6年4月> 博士(工学)
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 統計学 基礎数学 微分積分基礎 微分積分応用 C/C++プログラミング ロボット製作実習 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ ロボティクス特論C

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 高宏 (53) <令和6年4月> 博士(工学)
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 力学 ロボティクス基礎 機械工学基礎Ⅱ ロボット製作実習 社会ロボティクスⅠ ロボット制御 社会ロボティクスⅡ ロボティクス特論A
専	教授	宗 健 (59) <令和6年4月> 博士(社会工学)
		データ分析入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B プロジェクトマネジメント 問題解決型プロジェクト研究 社会人になるための人間関係理論 システム開発の基礎 ソフトウェアマネジメント
専	教授	津村 幸治 (60) <令和6年4月> 博士(工学)
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 統計学 基礎数学 微分積分基礎 微分積分応用 C/C++プログラミング ロボット製作実習 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ ロボティクス特論C

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田 和之 (61) <令和6年4月> 博士(工学)
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 幾何 機械工学基礎 I ロボット設計 I ロボット機構学 ロボット製作実習 ロボット設計 II 知能ロボットシステム I 知能ロボットシステム II ロボティクス特論B
専	准教授	新井 亜弓 (45) <令和6年4月> 博士(環境学)
		社会と技術の関係構築論 情報リテラシーA 情報リテラシーB スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 未来工学特論A 工学的思考法 プロジェクトマネジメント プロジェクトデザイン SDGsと技術
専	准教授	笹尾(小林) 知世 (36) <令和6年4月> 博士(環境学)
		デザイン思考入門 人工知能入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B デザイン思考A デザイン思考B エンジニアのための社会科学・人文科学入門 人間工学 UX/UIデザイン

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田 和之 (61) <令和6年4月> 博士(工学)
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 幾何 機械工学基礎 I ロボット設計 I ロボット機構学 ロボット製作実習 ロボット設計 II 知能ロボットシステム I 知能ロボットシステム II ロボティクス特論B
専	准教授	新井 亜弓 (45) <令和6年4月> 博士(環境学)
		社会と技術の関係構築論 情報リテラシーA 情報リテラシーB スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 未来工学特論A 工学的思考法 プロジェクトマネジメント プロジェクトデザイン SDGsと技術
専	准教授	笹尾(小林) 知世 (37) <令和6年4月> 博士(環境学)
		デザイン思考入門 人工知能入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B デザイン思考A デザイン思考B エンジニアのための社会科学・人文科学入門 人間工学 UX/UIデザイン

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	邵 肖偉 (43) <令和6年4月> 博士(工学)(中国)
		人工知能入門 情報リテラシーA プログラミング基礎 データ分析入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 機械学習 画像解析 計算機科学の基礎 C/C++プログラミング
専	准教授	須永 大介 (51) <令和6年4月> 博士(工学)
		情報リテラシーB 統計学基礎 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB 麗澤流エンジニアB 統計学 基礎数学 線形代数基礎
専	准教授	陳 寅 (37) <令和6年4月> 博士(システム情報科学)
		情報リテラシーA 情報リテラシーB 統計学基礎 プログラミング基礎 データ分析入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 機械学習 データベース セキュリティ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	邵 肖偉 (43) <令和6年4月> 博士(工学)(中国)
		人工知能入門 情報リテラシーA プログラミング基礎 データ分析入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 機械学習 画像解析 計算機科学の基礎 C/C++プログラミング
専	准教授	須永 大介 (51) <令和6年4月> 博士(工学)
		情報リテラシーB 統計学基礎 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB 麗澤流エンジニアB 統計学 基礎数学 線形代数基礎
専	准教授	陳 寅 (37) <令和6年4月> 博士(システム情報科学)
		情報リテラシーA 情報リテラシーB 統計学基礎 プログラミング基礎 データ分析入門 スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B 機械学習 データベース セキュリティ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塚田 義典 (36) <令和6年4月> 博士(情報学)
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B ソフトウェア工学基礎 システム開発の基礎 ソフトウェア演習 データベース ソフトウェア設計応用 ソフトウェア開発の実際 データベース演習 アプリケーション開発 ウェブシステム開発
兼任	教授	犬飼 孝夫 (61) <令和7年4月> 文学修士、国際学修士
		世界史概論A 世界史概論B
兼任	教授	大越 利之 (46) <令和8年9月> 博士(経済学)
		EBPMの事例と実践
兼任	教授	大沼 博靖 (56) <令和6年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実習SA スポーツ実習SB スポーツ・健康と社会 レクリエーション演習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塚田 義典 (36) <令和6年4月> 博士(情報学)
		スタートアップセミナー 初年次セミナーA 初年次セミナーB 2年次セミナーA 2年次セミナーB プロジェクト研究A プロジェクト研究B 卒業研究A 卒業研究B ソフトウェア工学基礎 システム開発の基礎 ソフトウェア設計 データベース ソフトウェア設計応用 ソフトウェア開発の実際 データベース演習 アプリケーション開発 ウェブシステム開発
兼任	教授	犬飼 孝夫 (61) <令和7年4月> 文学修士、国際学修士
		世界史概論A 世界史概論B
兼任	教授	岩澤 知子 (61) <令和6年9月> Ph. D. (米国)
		SDGsと道德
兼任	教授	大久保 俊輝 (69) <令和6年4月> 準学士(経営)
		自主企画ゼミナールA
兼任	教授	大越 利之 (46) <令和8年9月> 博士(経済学)
		EBPMの事例と実践
兼任	教授	大沼 博靖 (56) <令和6年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実習SA スポーツ実習SB スポーツ・健康と社会 レクリエーション演習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大野 仁美 (60) <令和6年4月> 文学修士
		言語学入門
兼任	教授	大野 正英 (61) <令和6年4月> 経済学修士
		道徳科学B 新たな時代の道徳の探求 SDGsと道徳 基礎数学 麗澤スタディーズ
兼任	教授	小高 新吾 (60) <令和6年4月> 学士(政治)
		成長のための基礎とキャリア 業界企業研究とキャリア形成 キャリア形成演習 社会人としてのキャリア形成～卒業後に向けて～ 金融リテラシー
兼任	教授	小野 宏哉 (69) <令和6年4月> 工学博士
		基礎数学 統計学基礎 統計学
兼任	教授	籠 義樹 (55) <令和6年4月> 工学博士
		基礎数学 環境科学 麗澤・地域連携ゼミナール
兼任	教授	川上 和久 (66) <令和6年4月> 社会学博士
		社会学 政治学A 政治学B メディア社会論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大野 仁美 (60) <令和6年4月> 文学修士
		言語学入門
兼任	教授	大野 正英 (61) <令和6年4月> 経済学修士
		<b>道徳科学A</b> 道徳科学B 新たな時代の道徳の探求 <b>SDGsと道徳</b> <b>基礎数学</b> 麗澤スタディーズ
兼任	教授	小高 新吾 (60) <令和6年4月> 学士(政治)
		成長のための基礎とキャリア 業界企業研究とキャリア形成 キャリア形成演習 社会人としてのキャリア形成～卒業後に向けて～ 金融リテラシー
兼任	教授	小野 宏哉 (69) <令和6年4月> 工学博士
		<b>基礎数学</b> <b>統計学基礎</b> <b>統計学</b>
兼任	教授	<b>織田 邦男</b> <b>(72)</b> <b>&lt;令和6年4月&gt;</b> <b>修士(安全保障)</b>
		<b>総合安全保障特論(入門講義)</b> <b>総合安全保障特論(特別講義)</b>
兼任	教授	籠 義樹 (56) <令和6年4月> 工学博士
		<b>基礎数学</b> 環境科学 麗澤・地域連携ゼミナール
兼任	教授	川上 和久 (66) <令和6年4月> 社会学博士
		社会学 政治学A 政治学B メディア社会論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	川久保 剛 (50) <令和6年4月> 修士(国際文化)
		道徳科学B 新たな時代の道徳の探求 人間学 麗澤スタディーズ 哲学A 哲学B
兼任	教授	齋藤 之誉 (57) <令和7年4月> 修士(教育学)
		総合的空間関係科学 人間活動と空間の関係科学 地理学の探求方法
兼任	教授	櫻井 良樹 (66) <令和6年4月> 博士(史学)
		麗澤スタディーズ 日本史A
兼任	教授	清水 千弘 (56) <令和8年4月> 博士(環境学)
		経済データ分析A 経済データ分析B
兼任	教授	下田 健人 (66) <令和6年9月> 経済学修士
		SDGsと道徳
兼任	教授	鈴木 大介 (49) <令和6年9月> 博士(経済学)
		簿記入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	川久保 剛 (50) <令和6年4月> 修士(国際文化)
		<del>道徳科学B</del> 新たな時代の道徳の探求 人間学 麗澤スタディーズ 哲学A 哲学B <b>日本の危機と安全保障・軍事・情報</b>
兼任	教授	<del>古森 義久</del> (83) <令和6年4月> 学士(経済学)
		<b>グローバル化と日本 国際情勢論</b>
兼任	教授	<del>近藤 明人</del> (48) <令和6年4月> 博士(経済学)
		<b>SDGsと道徳 自主企画ゼミナールA</b>
兼任	教授	齋藤 之誉 (57) <令和7年4月> 修士(教育学)
		総合的空間関係科学 人間活動と空間の関係科学 地理学の探求方法
兼任	教授	櫻井 良樹 (66) <令和6年4月> 博士(史学)
		麗澤スタディーズ 日本史A
兼任	教授	清水 千弘 (56) <令和8年4月> 博士(環境学)
		経済データ分析A 経済データ分析B
兼任	教授	下田 健人 (66) <令和6年9月> 経済学修士
		SDGsと道徳
兼任	教授	<del>鈴木 大介</del> (49) <令和6年9月> 博士(経済学)
		<b>簿記入門</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田中 俊弘 (56) <令和6年9月> 修士(文学)
		SDGsと道徳
兼任	教授	千葉 庄寿 (53) <令和7年9月> 修士(文学)
		Webオーサリング
兼任	教授	趙 家林 (68) <令和6年4月> 商学修士
		基礎数学
兼任	教授	寺本 佳苗 (43) <令和6年9月> 博士(経営学)
		経営と道徳A 経営と道徳B 簿記入門
兼任	教授	徳永 澄憲 (72) <令和6年4月> Ph. D (米国)
		SDGsと道徳 麗澤スタディーズ
兼任	教授	堀内 一史 (69) <令和6年4月> M. A. (米国)
		麗澤スタディーズ
兼任	教授	松島 正明 (64) <令和6年9月> 学士(外国語学)
		SDGsと道徳

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田中 俊弘 (56) <令和6年9月> 修士(文学)
		SDGsと道徳 麗澤スタディーズ
兼任	教授	千葉 庄寿 (53) <令和7年9月> 修士(文学)
		Webオーサリング
兼任	教授	趙 家林 (68) <令和6年4月> 商学修士
		基礎数学
兼任	教授	寺本 佳苗 (43) <令和6年9月> 博士(経営学)
		経営と道徳A 経営と道徳B 簿記入門
兼任	教授	徳永 澄憲 (72) <令和6年4月> Ph. D (米国)
		SDGsと道徳 麗澤スタディーズ
兼任	教授	堀内 一史 (69) <令和6年4月> M. A. (米国)
		麗澤スタディーズ
兼任	教授	松島 正明 (64) <令和6年9月> 学士(外国語学)
		SDGsと道徳 自主企画ゼミナールA
兼任	教授	森川 嘉之 (66) <令和6年4月> 修士(教育学)
		演劇で学ぶ英語A 演劇で学ぶ英語B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八木 秀次 (62) <令和6年4月> 修士(法学)
		日本国憲法 法学概論A 法学概論B
兼任	教授	山下 美樹 (56) <令和6年4月> Ph.D (Education) (英国)
		対話と道徳
兼任	准教授	池川 真里亜 (37) <令和6年4月> 博士(学術)
		基礎数学 統計学基礎 統計学 EBPMの事例と実践
兼任	准教授	井下 佳織 (46) <令和6年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ実習SA スポーツ実習SB 健康科学 レクリエーション演習B 救急処置法
兼任	准教授	江島 顕一 (42) <令和6年4月> 修士(教育学)
		道徳科学B 対話と道徳 新たな時代の道徳の探求 麗澤スタディーズ
兼任	准教授	佐藤 良子 (44) <令和8年4月> 修士(文学)
		新たな時代の道徳の探求

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八木 秀次 (62) <令和6年4月> 修士(法学)
		日本国憲法 法学概論A 法学概論B
兼任	教授	山下 美樹 (57) <令和6年4月> Ph.D (Education) (英国)
		対話と道徳
兼任	准教授	新井 優太 (36) <令和6年4月> 博士(理学)
		自主企画ゼミナールA
兼任	准教授	池川 真里亜 (37) <令和6年4月> 博士(学術)
		基礎数学 統計学基礎 統計学 EBPMの事例と実践
兼任	准教授	井下 佳織 (46) <令和6年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ実習SA スポーツ実習SB 健康科学 レクリエーション演習B 救急処置法
兼任	教授	江島 顕一 (42) <令和6年4月> 修士(教育学)
		道徳科学B 対話と道徳 新たな時代の道徳の探求 麗澤スタディーズ
兼任	准教授	佐藤 良子 (44) <令和8年4月> 修士(文学)
		新たな時代の道徳の探求



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	瀬川 真由美 (60) <令和6年4月> 文学修士
		ヨーロッパの言語
兼任	准教授	高本 香織 (50) <令和8年4月> Ph.D. (Communication) (米国)
		新たな時代の道德の探求
兼任	准教授	中園 長新 (40) <令和6年4月> 修士(教育学)
		PC実務演習 マルチメディア基礎 コンピュータによる統計解析入門 情報倫理
兼任	准教授	橋本 富太郎 (49) <令和6年4月> 博士(神道学)
		道德科学A 道德科学B 対話と道德 新たな時代の道德の探求 SDGsと道德 麗澤スタディーズ 日本史B
兼任	准教授	藤野 真也 (41) <令和6年4月> 博士(経営学)
		簿記入門 自主企画ゼミナールA 自主企画ゼミナールB 自主企画ゼミナールC 自主企画ゼミナールD

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	瀬川 真由美 (61) <令和6年4月> 文学修士
		ヨーロッパの言語
兼任	准教授	高本 香織 (50) <令和8年4月> Ph.D. (Communication) (米国)
		新たな時代の道德の探求
兼任	准教授	中園 長新 (40) <令和6年4月> 修士(教育学)
		PC実務演習 マルチメディア基礎 コンピュータによる統計解析入門 情報倫理
兼任	教授	橋本 富太郎 (49) <令和6年4月> 博士(神道学)
		道德科学A 道德科学B 対話と道德 新たな時代の道德の探求 SDGsと道德 麗澤スタディーズ 日本史B
兼任	准教授	花田 太平 (42) <令和6年9月> Ph.D. (English Studies) (英国)
		SDGsと道德 自主企画ゼミナールA
兼任	准教授	福田 誠 (48) <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		自主企画ゼミナールA
兼任	准教授	藤野 真也 (41) <令和6年4月> 博士(経営学)
		簿記入門 自主企画ゼミナールA 自主企画ゼミナールB 自主企画ゼミナールC 自主企画ゼミナールD

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	宮下 和大 (51) <令和6年4月> 博士(文学)
		道徳科学A 道徳科学B 対話と道徳 SDGsと道徳 経営と道徳A 経営と道徳B 麗澤スタディーズ
兼任	准教授	森田 龍二 (47) <令和7年4月> 修士(経済学)
		経済学入門 公務員入門
兼任	准教授	横田 理宇 (43) <令和7年4月> 博士(経営学)
		経営学入門
兼任	助教	新井 優太 (36) <令和6年4月> 博士(理学)
		プログラミング基礎 統計学基礎 IT実務演習
兼任	助教	Mitchell, Colin (38) <令和6年4月> M.A. (Applied Linguistics and TESOL) (英国)
		Transformative Autonomous Language Learning English for Communication I English for Communication II English for Communication A English for Communication B
兼任	助教	Grimaldi, Alessandro (35) <令和6年4月> M.S. (Psychology) (英国)
		English for Communication I English for Communication II English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	Tang, Kevin (56) <令和6年4月> M.A. (TESOL) (英国)
		English for Communication I English for Communication II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮下 和大 (51) <令和6年4月> 博士(文学)
		<del>道徳科学A</del> 道徳科学B 対話と道徳 SDGsと道徳 経営と道徳A 経営と道徳B 麗澤スタディーズ
兼任	准教授	森田 龍二 (47) <令和7年4月> 修士(経済学)
		経済学入門 公務員入門
兼任	准教授	横田 理宇 (43) <令和7年4月> 博士(経営学)
		経営学入門
兼任	助教	新井 優太 (36) <令和6年4月> 博士(理学)
		プログラミング基礎 統計学基礎 IT実務演習
兼任	助教	Mitchell, Colin (38) <令和6年4月> M.A. (Applied Linguistics and TESOL) (英国)
		Transformative Autonomous Language Learning <del>English for Communication I</del> <del>English for Communication II</del> <del>English for Communication A</del> <del>English for Communication B</del>
兼任	助教	<del>Grimaldi, Alessandro</del> <del>(35)</del> <del>&lt;令和6年4月&gt;</del> <del>M.S. (Psychology) (英国)</del>
		<del>English for Communication I</del> <del>English for Communication II</del> <del>English for Communication A</del> <del>English for Communication B</del>
兼任	講師	<del>Tang, Kevin</del> <del>(56)</del> <del>&lt;令和6年4月&gt;</del> <del>M.A. (TESOL) (英国)</del>
		<del>English for Communication I</del> <del>English for Communication II</del>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Johnston, Seamus (42) <令和6年4月> M. A. (TESOL) (英国)
		English for Communication I English for Communication II
兼任	講師	Germain, Bladimie (28) <令和6年4月> M. A. (ELT) (英国)
		English for Communication I English for Communication II English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	Wong, E, Von (32) <令和6年4月> M. A. (TESOL)
		English for Communication I English for Communication II English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	Hardy, Joe (28) <令和6年4月> M. A. (Applied Linguistics) (英国)
		English for Communication I English for Communication II English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	White, Chelanna, Leigh (35) <令和6年4月> B. A. (Arts) (カナダ)
		English for Communication I English for Communication II English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	Wong, Derrick, Yong, Jie (29) <令和6年4月> M. A. (TESOL)
		English for Communication I English for Communication II English for Communication A English for Communication B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Johnston, Seamus (42) <令和6年4月> M. A. (TESOL) (英国)
		English for Communication I English for Communication II
兼任	講師	Germain, Bladimie (28) <令和6年4月> M. A. (ELT) (英国)
		<del>English for Communication I</del> <del>English for Communication II</del> English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	Wong, E, Von (32) <令和6年4月> M. A. (TESOL)
		<del>English for Communication I</del> <del>English for Communication II</del> English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	Hardy, Joe (28) <令和6年4月> M. A. (Applied Linguistics) (英国)
		<del>English for Communication I</del> <del>English for Communication II</del> English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	White, Chelanna, Leigh (35) <令和6年4月> B. A. (Arts)
		<del>English for Communication I</del> <del>English for Communication II</del> English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	Wong, Derrick, Yong, Jie (29) <令和6年4月> M. A. (TESOL)
		<del>English for Communication I</del> <del>English for Communication II</del> English for Communication A English for Communication B
兼任	講師	<del>Tomacde, Rapunzel, Ordono</del> (36) <令和6年4月> M. A. (TESOL)
		<del>English for Communication I</del> <del>English for Communication II</del>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石光 俊明 (48) <令和6年4月> 修士(大学アドニミストレーション)
		成長のための基礎とキャリア キャリア教養科目A キャリア教養科目B 業界企業研究とキャリア形成 キャリア形成演習 社会人としてのキャリア形成～卒業後に向けて～ 公務員入門 公務員基礎教養 公務員専門研究A 公務員専門研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Bolger Stephen Peter (48) <令和6年4月> M. A. (TESOL)
		English for Communication I English for Communication II
兼任	講師	Rawlinson Ciaran Joseph (34) <令和6年4月> M. Sc. (TESOL)
		English for Communication I English for Communication II
兼任	講師	石光 俊明 (48) <令和6年4月> 修士(大学アドニミストレーション)
		成長のための基礎とキャリア キャリア教養科目A キャリア教養科目B 業界企業研究とキャリア形成 キャリア形成演習 社会人としてのキャリア形成～卒業後に向けて～ 公務員入門 公務員基礎教養 公務員専門研究A 公務員専門研究B
兼任	講師	内野 岳 (30) <令和6年4月> 修士(カリキュラム&ティーチング)
		English for Communication I English for Communication II
兼任	講師	佐藤 裕視 (38) <令和6年9月> 修士(国際貢献)
		SDGsと道徳
兼任	講師	豊嶋 建広 (71) <令和6年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実習SA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	濱野 英巳 (52) <令和6年4月> 修士(人文学)
		自主企画ゼミナールA

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキの授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・岩澤知子教授、担当者変更により担当科目を追加
- ・大久保俊輝教授、開講クラス増加により担当科目を追加
- ・大野正英教授、担当者変更により担当科目の追加および削除
- ・小野宏哉教授、担当者変更により担当科目を削除
- ・織田邦男教授、新規科目の追加により、担当科目を追加
- ・籠義樹教授、担当者変更により担当科目を削除
- ・川久保剛教授、担当者変更により担当科目を削除および新規科目の追加により、担当科目を追加
- ・古森義久教授、新規科目の追加により、担当科目を追加
- ・近藤明人教授、担当者変更および開講クラス増加により担当科目の追加
- ・鈴木大介教授、退職により就任辞退
- ・田中俊弘教授、担当者変更により担当科目を追加
- ・趙家林教授、担当者変更により担当科目を削除
- ・寺本佳苗教授、担当者変更により担当科目を削除
- ・松島正明教授、開講クラス増加により担当科目を追加
- ・森川嘉之教授、新規科目の追加により担当科目を追加
- ・新井優太准教授、開講クラス増加により担当科目を追加
- ・池川真里亜准教授、担当者変更により担当科目を削除
- ・江島頭一准教授、教授に昇格。担当者変更により担当科目を削除
- ・橋本富太郎准教授、教授に昇格。担当者変更により担当科目を削除
- ・花田太平准教授、担当者変更および開講クラス増加により担当科目の追加
- ・福田誠准教授、開講クラス増加により担当科目を追加
- ・藤野真也准教授、担当者変更により担当科目を削除
- ・宮下和大准教授、教授に昇格。担当者変更により担当科目を削除
- ・Mitchell, Colin助教、担当者変更により担当科目を削除
- ・Grimaldi, Alessandro助教、逝去により就任辞退
- ・Tang, Kevin講師、退職により就任辞退
- ・Germain, Bladimie講師、担当者変更により担当科目を削除
- ・Wong, E. Von講師、担当者変更により担当科目を削除
- ・Hardy, Joe講師、担当者変更により担当科目を削除
- ・White, Chelanna, Leigh講師、担当者変更により担当科目を削除
- ・Wong, Derrick, Yong, Jie講師、担当者変更により担当科目を削除
- ・Tomacde, Rapunzel, Ordone講師、2024年4月就任
- ・Bolger Stephen Peter講師、担当者変更により担当科目を追加
- ・Rawlinson Ciaran Joseph講師、担当者変更により担当科目を追加
- ・内野 岳講師、2024年4月就任
- ・佐藤裕視講師、担当者変更により担当科目を追加
- ・豊嶋建広講師、担当者変更により担当科目を追加
- ・濱野英巳講師、開講クラス増加により担当科目を追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
10	6	0	0	16	0	10	6	0	0	16	0
(10)	(6)	0	0	(16)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
10	6	0	0	16	0	10	6	0	0	16	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{16} = \boxed{18.75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{16} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。



(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	<p>・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見への対応において、「機械工学基礎」を「機械工学基礎Ⅰ」とした上で、これに加えて「機械工学基礎Ⅱ」を必修科目として新たに配置することにより、機械工学の四力学(材料力学、機械力学、流体力学、熱力学)に関する知識を身に付けることができる計画に改められた。一方で、「機械工学基礎Ⅱ」には「圧縮性流体力学」や「トライボロジー」など、基礎的な学びの範疇(はんちゆう)を超えた発展的な授業内容が含まれていると見受けられる。「機械工学基礎Ⅰ」及び「機械工学基礎Ⅱ」が「機械工学の基礎を学ぶ」ことを目的とした授業科目であることを踏まえて、機械工学やロボットシステムの基礎をなす四力学の重要項目を学生が確実に修得できるよう、授業内容を工夫することが望ましい。</p>	【認可】 助言事項	<p>・本附帯事項にある当該科目(「機械工学基礎Ⅰ・Ⅱ」)については2年次以降の科目となっているため、令和6年度時点では未実施であるが、当該附帯事項にある助言に沿って詳細な学修内容の検討を行っていく予定である。なお、「圧縮性流体力学」についてはロボットシステムにおいて近年特に注目の上がっている空気圧アクチュエータの安全性を含めた特性の理解を含める上で関連して触れておきたい事項である。「トライボロジー」はロボットシステム、機械システムにおいて主要な機械要素に必要な摩擦や固体潤滑、液体潤滑などの特性を理解する上で重要である。特にロボティクス分野において今後重要性を増すハプティクス(触覚・力覚)に関して、本項目はごく基礎的な事項のみでも触れておきたく、また学生の学修への関心・意欲を高めるキーワードとして敢えて挙げた点である。</p>	<p>・令和7年度以降、附帯事項事項の助言に沿って学生が確実に修得できるよう、授業内容を工夫する予定である。</p>
認 可 時 (令和6年)	<p>・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見への対応において、実習等に使用する実験・実習室や、実験・実習室に配備する設備・備品が明示され、実習等に使用する「実習室1」には、3Dプリンタやレーザーカッターなどの工作機械を配備することが示された。しかしながら、工作機械が学生の近くに配備された状況で実習等を行うことは相応の危険が伴うことも考えられることから、学生が実習等に使用する実習室と工作機械を配備する場所を分けるなど、工作機械の適切な配置を含めて学生の安全に十分に配慮することが望ましい。</p>	【認可】 助言事項	<p>・本附帯事項にある助言にも従い、指摘の工作機械については比較的相対的に使用やメンテナンスが比較的容易で安全性の高い機種を選定している(※1)。加えて、これらの機器を学生が使用する際には必要な講習・研修を受けた上で、教員・技術職員の監督責任の下で安全性に十分配慮して運用を行うこととしている。実習室と工作室とを分離することはスペースの制約上困難だが、これら工作機械を使用する際に異なる実習を並行させることで危険が生じるようなことが無いよう、使用する機器や実施する実習内容は時間を分けて行うなど、学生の安全に十分に配慮した運用を行うこととしている。</p> <p>※1 &lt;3Dプリンタ&gt; ・<a href="https://afinia.jp/products/h1">https://afinia.jp/products/h1</a> ・<a href="https://www.creativity-3d.jp/shopdetail/00000000167/">https://www.creativity-3d.jp/shopdetail/00000000167/</a> &lt;レーザーカッター&gt; ・<a href="https://www.smartdiys.com/lc950/">https://www.smartdiys.com/lc950/</a></p>	<p>・配慮を行った体制を充実させるため、実際に機械を使用する実習講義が開講される2年次となる令和7年度までに技術職員の雇用を含めた体制を整備する予定である。</p>
認 可 時 (令和6年)	<p>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</p>	【認可】 遵守事項	<p>アドミッション・ポリシーで挙げている「社会課題を発見しそれを解決していく力」「他社会の多様な価値観を尊重しつつ、その解決策そのものおよび解決までのプロセスにおいて倫理的配慮を行うことができる力」「基礎的な英語と数学の知識・技能」を備えた入学者を選抜することを踏まえ「面接方式」「プレゼン方式」「学力方式」など様々な入学者選抜を実施した。入学者数は152名(定員100名)となったが工学部教員1人あたりの担当学生数は10.8名であり現状は適切な規模となった。</p>	<p>次年度も今年度の入学者数の状況を鑑み、入試方式の見直しはもちろんのこと、必要に応じて定員の見直しを図っていく。</p>

認可時 (令和6年)	・経済学部経営学科の収容定員超過の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	経営学科の昨年度入学定員超過率が1.47倍だったが、今年度は1.21倍に是正した。(今年度より経営学部として設置)	履行中	次年度は経営学部の入学定員を増やす事により更なる入学定員の是正に努めていく。
認可時 (令和6年)	定員充足状況が悪化している組織があることから、法人全体として設置校の今後の在り方を検討し、定員未充足の不断の改善等に努めること。(麗澤大学国際学部グローバルビジネス学科)	【認可】 遵守事項	今年度の麗澤大学国際学部グローバルビジネス学科の定員充足率については68.75%(55/80名入学)と昨年度と同数であり、定員未充足からの脱却は不達成となった。	履行済	次年度は学部内再編を行い、国際学部全体を国際学科へ一本化し、定員も他学部へ移行(160名→100名)する事、および新設含め入試方式を見直すことにより入学定員の是正に努めていく。
認可時 (令和6年)	・赤字となっている収益事業について、収益の改善に取り組むこと。	【認可】 助言事項	施設稼働状況を改善し、施設利用料収入の対前期比は149.4パーセントとなった。ただし全体として黒字化には届いていない。	履行中	黒字化に向けて、収益の改善に引き続き努めていく。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

**【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <工学部 工学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>学長を委員長とし、副学長、学長補佐、学部長、各学部からのオブザーバーの教員を委員とし、全学FD委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回FD委員会 2023年6月1日 参加者: 20人</li> <li>・ 第2回FD委員会 2023年8月24日 参加者: 16人</li> <li>・ 第3回FD委員会 2023年11月2日 参加者: 17人</li> <li>・ 第4回FD委員会 2024年3月21日 参加者: 19人</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回FD委員会           <ul style="list-style-type: none"> <li>①2023年度の活動内容について</li> <li>②生成系AIに関する学生向けガイドラインの策定について</li> <li>③授業改善アンケート2022年度のまとめについて</li> <li>④授業改善アンケート2023年度実施スケジュールについて</li> </ul> </li> <li>・ 第2回FD委員会           <ul style="list-style-type: none"> <li>①教職員のための自殺予防研修会の実施について</li> </ul> </li> <li>・ 第3回FD委員会           <ul style="list-style-type: none"> <li>①新教務システムの概要について</li> <li>②2024年度シラバスの改訂について</li> <li>③授業改善アンケート春semesterの報告</li> <li>④2024年度システム変更に伴う抽選科目の選定方法について</li> </ul> </li> <li>・ 第4回FD委員会           <ul style="list-style-type: none"> <li>①2024年度のFD体制について</li> <li>②授業改善アンケート秋semesterの報告</li> </ul> </li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>●新任教員研修会</p> <p>a 実施内容</p> <p>学長より、建学の理念や中期目標、副学長(教育担当)より本学の教育の現状、教育目標、FDの取組、副学長(国際・学生担当)よりグローバル教育や学生支援体制等、副学長(研究)より研究について説明、懇談を行った。</p> <p>b 実施方法</p> <p>4月27日に学内にて、2023年度採用者および2022年度9月着任者を対象に開催。</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>外国語学部2名、経済学部3名、国際学部2名、全学7名の計14名が参加した。</p>
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

新任教員についても本学の建学の理念や教育方針に関する理解を深め、教育、研究活動に活かすことができた。

●FD勉強会

a 実施内容

11月23日（木）教職員のための自殺予防セミナー

12月14日（木）①2024年度新ポータルシステムについて

②2024年度シラバス作成について

③2024年度に向けた情報教育システムの変更について

2月8日（木）第1部 ①麗澤高等学校通信制に学ぶ

②本学の高大連携の取り組みの報告

第2部 ①情報教育システムの更新について

②新ポータルシステムについて

3月21日（木）第1部 ①情報教育システムの更新について

②データサイエンス科目について

③新校舎iStudioの活用について

④新教務システムについて

b 実施方法

オンラインにて開催。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・第1回FD勉強会 2023年10月26日 参加者：74人

・第2回FD勉強会 2023年12月14日 参加者：100人

・第3回FD勉強会 2024年2月8日 参加者：126人

・第4回FD勉強会 2024年3月21日 参加者：117人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教職員のための自殺予防セミナー、2024年度の情報教育システム更新、学生のメンタルケアなど、必要なテーマに沿って勉強会を実施することができた。

●全学教員懇談会

a 実施内容

2022年度に引き続き、月1回の全学教員懇談会を開催した。

b 実施方法

オンラインにて開催。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

毎回80名前後の参加者があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員間の意見交換、情報交換の活発化を図り、学内の課題の共有等を進めることができた。

●SD研修会

a 実施内容

外部講師を招いて、職員を対象に職員（職場）間のチームワーク、帰属意識、学生支援の向上を目指し、事前課題やワークを取り入れながら、対面・オンデマンド（後日視聴）で開催した。

b 実施方法

対面・オンデマンド（後日視聴）方式。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

第1回：5月21日（火）テーマ「麗澤モチベーション・マネジメント」：職員53名参加

第2回：6月20日（木）テーマ「プロ・学生支援力」（予定）

第3回：7月25日（木）テーマ「シン・大学ビジネス力」（予定）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

職員間の意見交換、情報交換の活発化を図り、学内の課題の共有等を進めることができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートについては、以下の時期に実施した。

1クォーター：5/31～6/6、2クォーター：7/12～7/25、3クォーター：11/7～11/13、4クォーター12/19～12/20

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員には委託業者より分析結果（科目別集計、学部別集計、全体集計、科目別自由記述）が送付された。

学生には大学ホームページに掲載し、公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・ 本学部設置の趣旨・目的およびその教育内容を入試要項、ホームページ等で分かりやすく紹介した。
- ・ 入学者選抜の段階から、提出された書類の審査や口頭試問を実施することによって、学部での学習に適合しているかどうかをより明確に審査した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 自己点検・評価の結果は『麗澤大学年報』に取りまとめ、令和6年7月末 公表（予定）

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開予定（令和6年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 2021年度に大学機関別認証評価を受け、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定された。次回認証評価は、2028年度に機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 麗澤大学委員会規程

昭和 62 年 4 月 1 日制定  
令和 6 年 4 月 1 日最近改正

### (目的)

第 1 条 この規程は、麗澤大学学則第 13 条第 2 項の規定に基づき、本学に設置する委員会に関する総括的事項について定めることを目的とする。

### (委員会の種類)

第 2 条 本学に設置する常設の委員会は、次のとおりとする。

- (1) 学生委員会
- (2) 自己点検・認証評価委員会
- (3) FD 委員会
- (4) 入学試験委員会
- (5) 教員倫理委員会
- (6) 紀要編集委員会
- (7) 寮教育委員会
- (8) 教員利益相反防止委員会
- (9) 発明審査委員会

2 臨時の委員会は、必要に応じ学長が設置するものとする。

### (任務・業務)

第 3 条 委員会は、学長の諮問に答えるとともに、必要事項の立案及び実施に当たる。

2 委員会は、本学の規程、並びに中期計画及び当該年度の事業計画に基づき、業務を実施する。

### (構成・委嘱・任期)

第 4 条 委員会は、委員長並びに委員をもって構成する。ただし、必要に応じて副委員長を置くことができる。

2 委員長、副委員長及び委員は、学長がこれを委嘱する。

3 委員長、副委員長及び委員の任期は 1 年とし、毎年 4 月 1 日付けで委嘱する。ただし、再任を妨げない。

### (委員長・副委員長)

第 5 条 委員長は、委員会を主宰するとともに、学長の諮問事項について、答申及び報告の義務を負う。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第6条 削除

第7条 削除

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、大学事務局大学総務課が所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学執行部会議の意見を聴取した後、学長がこれを定める。

附 則

1 この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

2 この規程は、平成2年4月1日から改定施行する。

3 この規程は、平成4年4月1日から改定施行する。

この規程の改定施行に伴い、次の規程は、廃止する。

(1) 運営会議規程(昭和62年4月1日施行)

(2) 企画常任委員会規程(昭和62年4月1日施行)

(3) 規程委員会規程(昭和62年4月1日施行)

(4) 留学生制度検討委員会規程(平成2年4月1日施行)

4 この規程は、平成5年4月1日から改定施行する。

5 この規程は、平成6年4月1日から改定施行する。

6 この規程は、平成6年7月16日から改定施行する。

7 この規程は、平成7年4月1日から改定施行する。

8 この規程は、平成9年4月1日から改定施行する。

9 この規程は、平成12年4月1日から改定施行する。

10 この規程は、平成14年4月1日から改定施行する。

11 この規程は、平成15年10月1日から改定施行する。

12 この規程は、平成16年4月1日から改定施行する。

この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学同和教育推進委員会規程、麗澤大学安全衛生委員会規程及び麗澤大学奨学生委員会規程は廃止する。

13 この規程は、平成16年6月1日から改定施行する。

14 この規程は、平成17年4月1日から改定施行する。

この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学特別教育活動委員会細則は、廃止する。

15 この規程は、平成18年4月1日から改定施行する。

この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学図書館委員会細則、麗澤大学紀要等編集委員会細則、麗澤大学就職指導委員会細則、麗澤大学入試制度検討委員会細則及び麗澤大学麗澤教育編集委員会細則は、廃止する。



16 この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から改定施行する。

この規程の改定施行に伴い、従前の道徳科学教育委員会細則は、廃止する。

17 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から改定施行する。

18 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から改定施行する。

19 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から改定施行する。

20 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から改定施行する。

この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学 I-Lounge 委員会細則は、廃止する。

21 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から改定施行する。

この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学広報戦略委員会細則、麗澤大学ホームカミング  
デイ委員会細則、麗澤大学社会的責任推進委員会細則、麗澤大学寮教育委員会細則及び麗澤  
大学出版会運営委員会細則は、廃止する。

22 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から改定施行する。

この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学教職課程委員会細則は、廃止する。

23 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から改定施行する。

24 この規程は、平成 30 年 10 月 1 日から改定施行する。

25 この規程は、令和元年 6 月 13 日から改定施行する。

この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学学生委員会細則、麗澤大学自己点検委員会細則、  
麗澤大学教育課程委員会細則、麗澤大学 FD 委員会細則、麗澤大学入学試験委員会細則、麗  
澤大学教員倫理委員会細則、麗澤大学紀要編集委員会細則、麗澤大学留学・国際交流委員会  
細則及び麗澤大学寮教育委員会細則は廃止する。

26 この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から改定施行する。

27 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から改定施行する。

28 この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から改定施行する。